

「公印省略」

16病防管第230号  
平成16年11月4日

各関係機関の長 殿

福岡県病害虫防除所長

平成16年度病害虫発生予報第8号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成16年度病害虫発生予報第8号(11月)

【野菜】

| 作物名    | 病害虫名                             | 発生現況<br>(平成比)              | 発生予想<br>(平成比)          |
|--------|----------------------------------|----------------------------|------------------------|
| イチゴ    | うどんこ病<br>炭疽病<br>アブラムシ類<br>ハダニ類   | 少ない<br>多い<br>やや少ない<br>やや多い | 少ない<br>多い<br>並<br>やや多い |
| レタス    | 菌核病<br>灰色かび病<br>腐敗病              | 並<br>並<br>並                | 並<br>並<br>並            |
| キャベツ   | 黒腐病<br>菌核病<br>コナガ                | 並<br>並<br>少ない              | 並<br>並<br>少ない          |
| アスパラガス | 斑点病<br>茎枯病                       | やや多い<br>多い                 | やや多い<br>多い             |
| ナス     | うどんこ病<br>灰色かび病<br>すすかび病          | やや多い<br>並<br>並             | やや多い<br>並<br>並         |
| ネギ     | シロイチモジヨトウ<br>ネギハモグリバエ            | やや少ない<br>多い                | やや少ない<br>多い            |
| 野菜共通   | ハスモンヨトウ<br>ミナミキイロアザミウマ<br>オオタバコガ | 並<br>少ない<br>-              | やや少ない<br>やや少ない<br>-    |

## 【野 菜】

### 1 イチゴの炭疽病

( *Colletotrichum acutatum* 菌による葉枯れ炭疽及び *Glomerella cingulata* 菌による炭疽病 )

#### ( 1 ) 予報の内容

発生量：平年より多く、前年並

#### ( 2 ) 予報の根拠

ア 10月5半旬調査の結果、発病株率は1.0% ( 平年：0.3%、前年：1.1% ) であった。

イ 気象予報では、11月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並と予想されている。

#### ( 3 ) 防除上注意すべき事項

ア 台風等によりビニル被覆が遅れたところでは、一番花に被害がでる恐れがあるので防除を行う。

イ 発病株を早めに除去し、適正に処分する。

### 2 イチゴのハダニ類

#### ( 1 ) 予報の内容

発生量：平年よりやや多く、前年よりやや少ない

#### ( 2 ) 予報の根拠

ア 10月5半旬調査の結果、寄生株率は2.9% ( 平年：0.9%、前年：5.0% )、発生ほ場率は18.5% ( 前年：37.0% ) であった。

イ 気象予報では、11月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並と予想されている。

#### ( 3 ) 防除上注意すべき事項

ア ハダニ類の発生は定植直後から認められ、ビニル被覆後の11月中旬頃から増加し、その後、厳寒期には増加は緩慢となるが、2月下旬頃から急激に密度が上昇する。

イ 多発生後は防除が困難となるので、早期発見、早期防除に努める。

ウ イチゴ以外の植物にも寄生するので、ほ場周辺作物や雑草の薬剤防除、除草を行う。

エ 寄生した株の葉かぎ後の複葉や抜き取った雑草は、ほ場周辺に放置せず速やかにビニル袋等に入れて密閉し処分する。

### 3 キャベツのコナガ

#### ( 1 ) 予報の内容

発生量：平年より少なく、前年並

#### ( 2 ) 予報の根拠

ア 10月5半旬調査の結果、寄生株率は1.0% ( 平年：7.1%、前年：2.8% ) であった。

イ 気象予報では、11月の降水量は平年並と予想されている。

#### ( 3 ) 防除上注意すべき事項

ア 多発すると防除が困難になるので結球前の防除を徹底し発生を抑制する。

イ 老齢幼虫に対しては薬剤の効果が著しく低下するので、1~2齢幼虫を対象に防除を実施する。

ウ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーションで散布する。

#### 4 ネギのシロイチモジヨトウ

##### (1) 予報の内容

発生量：平年、前年よりやや少ない

##### (2) 予報の根拠

ア 10月5半旬調査の結果、被害株率は2.0%（平年：3.4%、前年：3.4%）であった。

イ フェロモントラップ（朝倉町長淵）による誘殺虫数は9月3半旬～9月5半旬は232頭（平年：207.8頭、前年：239頭）10月2半旬～10月5半旬は88頭（平年：152.6頭、前年：139頭）、であった。

ウ 気象予報では、11月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並と予想されている。

##### (3) 防除上注意すべき事項

ア 中齢以降の幼虫に対しては薬剤の効果が著しく低下するので、早期発見に努め、孵化直後の幼虫をねらって防除を行う。

イ 施設栽培では、成虫の飛び込み防止のため4mm目以下の防虫ネットを隙間なく張る。

ウ 葉身に産下された卵塊から孵化した幼虫は、そのまま葉身内に食入し内部から食害するため、卵塊や初期の被害葉は見つけ次第除去する。

エ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーションで散布する。

#### 5 ネギのネギハモグリバエ

##### (1) 予報の内容

発生量：平年より多く、前年並

##### (2) 予報の根拠

ア 10月5半旬調査の結果、被害株率は16.6%（平年：6.7%、前年：15.2%）であった。

イ 気象予報では、11月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並と予想されている。

##### (3) 防除上注意すべき事項

ア 施設栽培では、成虫の飛び込み防止のため1mm目以下の防虫ネットを隙間なく張る。

イ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーションで散布する。

#### 6 野菜共通のハスモンヨトウ

##### (1) 予報の内容

発生量：平年よりやや少なく、前年並

##### (2) 予報の根拠

ア 10月5半旬調査の結果

イチゴの寄生株率は0.3%（平年：1.8%、前年：1.6%）、被害株率は25.3%（平年：16.4%、前年：7.9%）であった。

アスパラガスの若茎寄生株率は平均：2.0%（平年：10.6%、前年：31.0%）であった。

イ 10月5～6半旬のフェロモントラップ（筑紫野市）による誘殺虫数は182頭（平年：300.2頭、前年：182頭）であった。

ウ 気象予報では、11月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並と予想されている。

( 3 ) 防除上注意すべき事項

- ア 孵化直後の1令幼虫は集団で葉を食害し、その後周囲に分散するので、初期の食害発生に注意し、卵塊や1令幼虫は見つけしだい捕殺する。
- イ 施設栽培ではビニルや防虫ネット、鉄骨などに卵塊を産みつけていることがあるので注意する。
- ウ 老齢幼虫に対しては薬剤の効果が低いので、早期発見に努め若齢幼虫の防除を徹底する。
- エ トマトやナスなど、作物によっては葉以外に花蕾や果実を食害する場があるがあるので、注意する。
- オ ほ場周辺の雑草は増殖源になるので、除草を徹底する。
- カ 防除薬剤は作物への登録状況を確認し使用する。また苗類については薬害に注意する。

7 野菜共通のオオタバコガ

( 1 ) 予報の内容

発生量：前年よりやや少ない

( 2 ) 予報の根拠

ア 10月5半旬調査の結果

イチゴの寄生株率は0%（平年：0.2%、前年：0.3%）であった。

キャベツの寄生株率は2.4%（前年：0.8%）であった。

イ 10月19日～10月26日のフェロモントラップの誘殺虫数は以下の通りであった。

| 年次        | 瀬高町文広 | 八女市忠見 | 広川町太田 | 大刀洗町大堰 |
|-----------|-------|-------|-------|--------|
| 2002年     | 6     | 5     | 16    | 0      |
| 2003年     | 47    | 0     | 5     | 72     |
| 2004年(本年) | 31    | 2     | 0     | 21     |

ウ 気象予報では、11月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並と予想されている。

( 3 ) 防除上注意すべき事項

- ア 中齢以降の幼虫は未熟果や結球部位に食入するため、防除効果が著しく低下するので、早期発見に努め、孵化直後の幼虫をねらって防除を行なう。
- イ 施設栽培では、成虫の飛び込み防止のため4mm目以下の防虫ネットを隙間なく張る。
- ウ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーションで散布する。

# 11月の気象予報（1か月）

（予報期間10月30日～11月29日）

2004年10月29日

福岡管区気象台発表

## 【概要】

向こう1か月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並、日照時間は平年並の可能性が大きいでしょう。

九州北部地方では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

## 【要素別確率】

（単位％）

| 要素   | 低い<br>（少ない） | 平年並 | 高い<br>（多い） |
|------|-------------|-----|------------|
| 気温   | 20          | 40  | 40         |
| 降水量  | 30          | 40  | 30         |
| 日照時間 | 30          | 40  | 30         |

< 1週目の予報 > 10月30日～11月5日

この期間の平均気温は、高い可能性が大きいでしょう。

< 2週目の予報 > 11月6日～11月12日

この期間の平均気温は、平年並か高い可能性が大きいでしょう。

< 3～4週目の予報 > 11月13日～11月26日

この期間の平均気温は、平年並の可能性が大きいでしょう。

## 参考資料

福岡における平年値

向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温

| 向こう1か月  |         |         | 平均気温（ ） |      |       |
|---------|---------|---------|---------|------|-------|
| 平均気温（ ） | 降水量(mm) | 日照時間(h) | 1週目     | 2週目  | 3-4週目 |
| 13.7    | 78.8    | 141.0   | 15.8    | 14.9 | 12.6  |

病虫害防除所では、病虫害の発生状況と防除について、ホームページでお知らせしています。アドレス及び番号は下記の通りです。

ホームページアドレス  
電子メールアドレス

<http://www.jpnp.ne.jp/fukuoka>  
kfok0301@sp.jpnp.ne.jp